

「再生工房」13人逮捕

無許可で廃品回収容疑

4県警

家電などの廃棄物を無許可で有料回収したとして、宮城、埼玉、千葉、愛媛の4県警は10日、廃棄物処理法違反（無許可営業）の疑いで「再生工房」名で廃品回収をしていた「グローバルマネジメント」（神奈川県藤沢市）の元宮城支店長根本優太容疑者（23）＝仙台市青葉区国分町＝ら13人を逮捕した。

逮捕されたのは、同社の元埼玉支店長曾根田涼太容疑者（22）＝埼玉県和光市新倉、元千葉支店長山口翔

容疑者（25）＝千葉市若葉区、元愛媛支店長比嘉元太＝通＝ら各支店の関係者。宮

城県警によると、曾根田、山口、比嘉の3容疑者ら9人は「許可が必要とは知らなかった」などと容疑を否認している。

根本容疑者の逮捕容疑は、廃品回収の許可がないのに今年5月、5回にわたり、宮城県名取市や仙台市の主婦から、木製ドアや壁掛け時計などを回収し、計約36万円を受け取った疑い。

宮城県警によると、同社は社員に歩合制を導入し、売り上げの40～60％を報酬として支払っており、4県警は、社員に高額報酬を約束し、売り上げを伸ばしていたとみている。

同社は全国の16支店で家電などを回収する際、契約解除などに関する事項が記

された書面を交付しなかったり、支払いを断った客に「ふさげるな」と脅すなどした疑いもある。

宮城県警によると、根本容疑者は「本社の指示でやっていた」と供述。4県警は特定商取引法違反（威迫・困惑行為）で同社幹部ら

の立件も検討する。

消費者庁が8月、特定商取引法違反で同社に6カ月の一部業務停止を命じ、宮城県警に刑事告発していた。4県警は当初、14人を逮捕する予定だったが、関与の度合いなどから13人にした。